

入試分析 社会

【総評】 やや易しくなったが、高得点を取るのは困難！

例年通り図表を読み取る問題が多く、十分な知識と練習がないと正解することは難しい！

①は3分野の小問集合、②は世界地理、③は日本地理、④が歴史、⑤が公民、⑥が分野融合問題という構成は今まで通り。問題自体の難度はやや下がった。

【問題分析】

① 3分野融合 (1問5点×3問=15点)

問1は地図とその情報から地形図を選ぶ問題。問2は幕府を倒し、天皇を中心とした政治を行った天皇を選ぶ問題。問3は地方公共団体の収入のうち、特定の仕事の費用を国が一部負担する依存財源を選ぶ問題。いずれも基本問題。絶対に落とせない。

② 世界地理 (1問5点×3問=15点)

問1は年間通して高温で、夏に湿潤で、ジュートの栽培が盛んな国を地図から選び、その気候を示す雨温図も選ぶ完全解答の問題。問2は地図にある4つの国について、それぞれの説明文を選ぶ完全解答の問題。「アジア諸国を中心に輸出」「ヨーロッパ系企業」「鉄鉱石」「自由貿易協定を結ぶ隣国」で答えが確定。問3は与えられた説明文に合う国を、日系現地法人数を示した略地図と機械類及び輸送用機器の輸出額を示した略地図を用いて答える問題。説明文中の日系現地法人の数と機械類及び輸送用機器の輸出額に注目し、略地図と照らし合わせれば、正解できる。難解そうに見えるが、いずれも基本問題だ。

③ 日本地理 (1問5点×3問=15点)

問1は地図にある4つの県について、それぞれの説明文を選ぶ完全解答の問題。県ごとの地理の知識が必要。問2は与えられた説明文に合う県と、その県の観光農園年間売上金額と果実収穫量を示す表を選ぶ完全解答の問題。さくらんぼ、みかん、りんご、日本なし、ぶどうの生産が盛んな都道府県を知っていれば、正解できる。問3は記述問題。鉄道の延伸による交通の利便性がどう変わるかを資料から読み取らなければならない。与えられた情報から思考し、必要な情報を抽出して、初めて都立高入試の記述問題は正解できる。

④ 歴史 (1問5点×4問=20点)

問1は3つの説明文を歴史順に並べ、地図の場所に適する記述を選ぶ完全解答の問題。「鎌倉幕府」「飛鳥寺」「厳島神社」の時代と場所が分かれば正解できる。問2は4つの説明文を歴史順に並べる完全解答の問題。室町時代から江戸時代の絵画の歴史を知っておく必要がある。問3は記述問題。資料から1867年と1900年に開催された万博で日本から出品された絵画の変化に注目し、さらに年表からその要因を読み取る。問4は大正時代から平成時代の一部を4つに分けたそれぞれの時期に合う説明文を選ぶ完全解答の問題。「国家総動員法」「GHQによる民主化」などの内容と結び付けられれば、容易に正解できる。例年、歴史は地理や公民と比べてかなり易しい。北進でしっかり勉強して、確実に正解したい。

⑤ 公民 (1問5点×4問=20点)

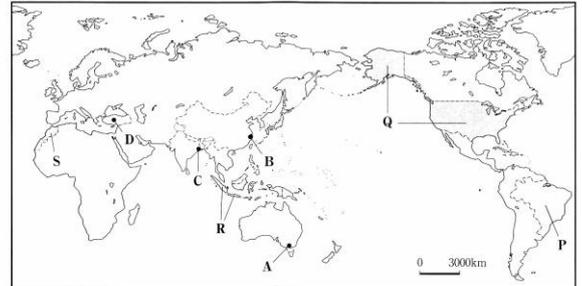
問1は社会権についての憲法条文を選ぶ問題で、簡単な問題だ。問2は与えられた労働者を保護する法律に合うものを選ぶ問題。問3は景気が悪化しているときの、政府による財政政策と日本銀行による金融政策に関する説明を選ぶ問題。問4はICTに関する文章と人口の推移のグラフから、ICTに期待されることを答える問題。公民も昨年と比べて易しくなったが、日頃から法律の意図や景気回復の仕組みを考えていないと何問か落としてしまうかもしれない。

⑥ 分野融合問題 (1問5点×3問=15点)

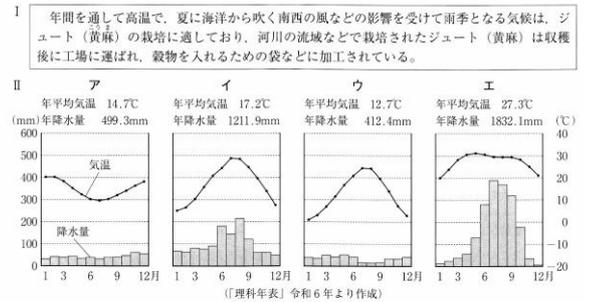
問1は地図にある4つの国について、それぞれの説明文を選ぶ完全解答の問題。「機械化の進んだ農業」「米やキャッサバ」「熱帯雨林」「カカオ豆」といったキーワードをもとに選んであとは消去法。問2は世界金融危機後の会議(の年)を選ぶ問題。問3は世界の人口に占める世界の州別の割合を示したグラフと日本の輸出額に占める世界の州別の割合を示したグラフの中で、アフリカ州を選ぶ問題。州別の人口を把握しておけば容易に正解できる。横断して関連付けられる柔軟な学習を早いうちから心がけたい。

【出題例】 ② 問1 この問題を瞬時に解くにはどこを見るべき？

② 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



【問1】 次のⅠの文は、略地図中にA～Dで示したいずれかの都市の自然環境と繊維工業の様子についてまとめたものである。ⅡのA～Eのグラフは、略地図中のA～Dのいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅰの文で述べている都市に当てはまるのは、略地図中のA～Dのうちのどれか。また、その都市のグラフに当てはまるのは、ⅡのA～Eのうちのどれか。



入試に向けての学習アドバイス

都立高入試の社会は他県の問題よりはるかに難しい。今年は少し易しくなったが、平均点が上がれば来年はまた難しくなるだろう。完全解答の問題や記述問題も多く、あやふやな知識では正解できない。中3から始めるのでは手遅れだ。中1・中2のうちに地理も歴史も完璧に覚えること。それが絶対合格への最短の近道だ！